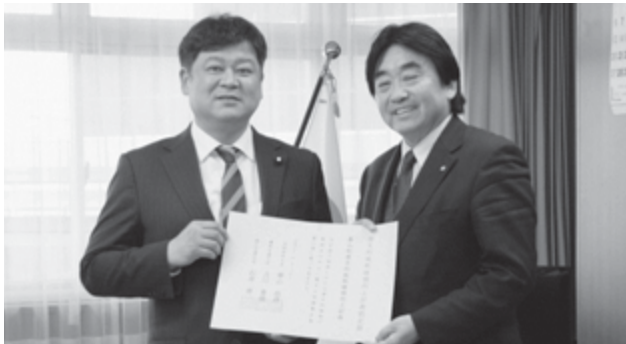


基山町歴史的風致維持向上計画が 国に認定されました

1月24日(木)、町が策定した「基山町歴史的風致維持向上計画」が国に認定され、主務大臣(文部科学大臣、農林水産大臣、国土交通大臣)連名の認定証が国土交通省で交付されました。(認定市町数は全国で72市町、佐賀県では2市町となりました)

この計画は、町の歴史的文化遺産と人々の活動(※)を一体的に維持・向上し、歴史あるまちづくりを推進していくために「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律(通称:歴史まちづくり法)」に基づいて、昨年度から策定に取り組んできました。

※町では、古代において国の特別史跡に指定されている基肄城が築かれ、近世では江戸時代をとおして対馬藩の領地となるなかで、長崎街道を利用した特色ある文化や産業などが育まれました。また、荒穂神社や大興善寺などといった由緒ある神社仏閣が多く存在します。これらの歴史的文化遺産である史跡や建造物を背景として、郷土の人々による民間行事や伝統芸能などの活動が現在でも営まれています。



問合せ先 定住促進課 歴史のまち推進係 ☎92-7920

大興善寺・荒穂神社が 佐賀県遺産に認定されました

町からの申請に基づき、佐賀県美しい景観づくり審議会(平成30年12月3日開催)からの答申を受け、1月8日(火)、大興善寺と荒穂神社が「佐賀県遺産」に認定されました。

佐賀県では、県民の郷土に対する誇りや愛着を育み、活力あるまちづくりを図るため、地域の宝となっている、美しい景観の地区や地域のシンボルとなる建造物を、22世紀へ残していくべきものとして「佐賀県遺産」に認定し、その保存及び活用の支援を行っています。



問合せ先 定住促進課 歴史のまち推進係 ☎92-7920

募 集

申込みは**2月28日(木)**まで
クリーンヒル宝満を見学しませんか



町では、ごみの減量や分別の大切さを理解してもらうことを目的にクリーンヒル宝満見学会を開催します。クリーンヒル宝満は、筑紫野市、小郡市及び基山町が共同で運営するごみ処理施設で、平成20年度から稼働しています。この見学会では、自分たちが排出しているごみがどのように処理され、資源化されるのを見学します。ぜひご家族やお友達を誘ってご参加ください(要申込)。

- 日 時 3月11日(月) 午前10時~12時
- 場 所 クリーンヒル宝満
- 内 容 クリーンヒル宝満施設説明、施設内見学、基山町のごみ処理の現状について(研修)
- 申込み 2月28日(木)までにお申し込みください

当日は車でクリーンヒル宝満へ送迎します

送迎をご利用の方は、午前9時45分までに
基山町民会館 正面入口前に集合してください。

※申込み・問合せ先 まちづくり課 生活環境係 ☎92-7941

第31回ねんりんピック富山2018 ソフトテニス団体 第3位!

平成30年11月3日(土)～6日(火)、富山県で第31回ねんりんピックが開催され、ソフトテニスの部で佐賀県代表として出場された平野幸子さん(基山ソフトテニスクラブ)が団体戦で第3位という見事な成績を収められました。(写真左から2番目)



17区 新年行事「どんど焼き」

1月12日(土)、けやき台北部公園で、平成最後の新年行事「どんど焼き」を開催し、多くの方が参加されました。

どんど焼きの炎は、今年1年を安堵するように勢いよく天に上がり、健勝と災害のない平穏な年を祈願しつつ、お神酒やお汁粉、焼き芋のおもてなしでお祝いをしました。また、けやき台朝市も開催しました。



きやま創作劇実行委員会 佐賀さいこう表彰を受賞しました!

1月29日(火)、佐賀県庁1階県民ホールで「佐賀さいこう表彰(協働部門)」の表彰式が行われ、山口知事から表彰状が授与されました。(今回、県内で6団体が受賞)

きやま創作劇実行委員会の皆さんは、基山の歴史や文化、伝承などを後世につなげ、郷土愛を育てていくことを目的に、子供から大人までが参加をする創作劇を毎年年末に公演をされています。



写真左から 小原さん、山口知事、福永さん

問合せ先 まちづくり課 協働推進係 ☎92-7935

第7回フレンドシップ大会 基山ファイターズ優勝!

平成30年12月15日(土)、福岡市で第7回フレンドシップ大会が開催され、32チームが参加しました。基山ファイターズは順調に勝ち進み、筑後市の強豪松原ライオンズとの対戦を5対4で見事制し、優勝しました。



LAST KINGS(基山町野球協会所属)が 町内少年野球チームにボールを寄贈

1月7日(月)、町長室で、町内の野球チームであるLAST KINGSがきのくに祭りの売上金で購入したボールを町内の少年野球チーム3団体に寄贈されました。

「大人になっても基山で仲間と野球をしてほしい」という想いで渡されたボール。子どもたちはその想いを胸に練習に励みますと意気込みました。

